方城

第七卷　第四號

発行所
方城村公民館
方城村図書館
編集発行人
荒木良和
印刷所
冷牟田印刷合資会社
八幡市折尾町国道筋

婦人と選擧權

選挙委員長　高津久雄

四月は全く選挙の月であつた。選挙の準備に始まつて、選挙に終つたと云つてよい程である。臨時選挙人名簿の作成、衆議院議員立候補者の立会演説会の開催、之に前後して公明選挙の啓蒙宣伝、棄権防止の督励等々。相当に頑張り続けた。中選挙の前日及び当日は役場並に、伊方小学校の放送施設を利用して午前、午後に亘り、有権者に或は訴へ、或は協力を求めた。然るにも拘らず投票率は四月十九日執行の衆議院議員の選挙が有権者八、一三一名、投票者七、二四一名で八九・一%。四月二十四日の参議院議員の選挙が有権者八、二二九名、投票者七、一〇五名で八七・四%と云う投票成績に終つた。

当局としては、予想外の不成績に、尚努力の不足を嘆いたものである。只一般に選挙熱が低調で其の成績が悪かつた為、当村の投票率が不成績の中にも、郡内第一位であつたことと、公明選挙の宣伝が、幾分徹底したと思はれる結果、今までの所では選挙違反事件のないことがせめての慰めである。

此の度行はれた、兩度の選挙に於て強く印象付けられた事は、婦人票の存在である。婦人票は確実であると云はれ、又婦人票の獲得がなければ当選は六ケ敷とまで考へられて来たことである。

此の事実は婦人の参政権獲得を意義付けるものであると共に、又婦人の地位の向上を実証するものとして喜んでよいと思う。だが婦人が真実に政治を理解し、選挙の意義を了知する等、政治に対する知識の向上が、其の存在を認識せしめて来たと云うのでなく、婦人はだまし易いとか、婦人はまだ〳〵政治に対する関心が薄いから頼みさえすれば、立候補者の誰れ彼の別なくたやすく、票が貰へるとか云うのであれば、之は考えねばならぬ重大なることであると云うのだ。

「生活に明日からひびくこの一票」だいたい選挙は在民主権の立場に於て、民衆が直接政治に参与する唯一の途であることは論をまたない。民主政治の最高の目標とする所は、一般国民の生活を豊かにし、生活を安定させることでなからねばならない。隨つて国民に重税を課するの結果となる、再軍備の問題や、国民の福祉増進を前提とする社会保障制度の問題等が国会の重要案件として取上げられることは勿論のことと思はれるが、国民大衆の生活に、直接につながる問題が政治の争点として国民関心の下にもつと〳〵論議されても良いと思う。国民大衆の生活に直接関連を持つ、即ち国民の日常生活に於て身近かに感ずる主食の値段の問題や、電燈料金の問題や、汽車賃の値上げ問題等が国民の深い関心を前に、政治問題として展開されることになつてこそ政治家も真剣に国民のための政治を論じなければならぬことになる。此処に於て初めて一票が生活に響く貴重の一票となり、又吾等の日常生活と政治とのつながりが結ばれて来る。

今日の実態はどうか？主食の値段が上つても、電燈料金が上つても、汽車賃が上げられても、結局は役所の天下り案がそのまゝ実施されることとなり、国民の立場に於ては之に対し不平を云うと言うよりも、むしろ已むを得ぬものとして見のがされているのではあるまいか？

或る書物に依ると英国ではだいぶん様子が違う様である。

国民の合所に直接響くような問題は政治家が徹底的に究明するし、又究明しないような政治家は、民衆から見離される。二十七年三月、バトラー相が作成した新しい耐乏政策の予算案が財政専門家の間で議論されたことは云うまでもないが、其の耐乏政策の中に盛られた、パンの値上げ問題が全国民の間でとりわけ婦人の間で白熱的に討論されたと云うことである、さすがは民主政治の国だと考へられる。

家庭の主婦が政治や経済の動きに全く無関心であつた為、講演者の口車に乗つて不用の毛糸をあわてゝ沢山買い込み、店の者を驚かしたと云うナンセンスが方城村にもあつたと聞いている。

今度の選挙に於ける方城村の婦人の投票率は決して男子のそれに劣つていないが、選挙すれのしない、無垢な新しい選挙権の分野としての婦人票が、菓子袋一個で気安く、せしめられたり、情実で軽く扱はれるが如きことはありもしまいが、婦人の名誉の為にも断じてあつてはならないことである。

選挙権を、貴重の一票とする為には婦人自からの政治的知識の向上が望ましい。その為にはもつと婦人が新聞を読み、ラジオを聞き、名士の講演を聞くことにならねばならぬと思う。女のくせにと云う婦人自からを卑下する古い言葉を婦人の立場から棄てる時代の来ていることを告げたいのだ。

公民館研究大会を省みて

公民館係

五月十八日公民館及丸山公民分館共催のもとに、公民分館研究大会を開催したが、此の大会動機は分館長会議において、今後の分館活動も如何に推進すれば効果があるかと云う、愛村精神の輿論の結集のもとに本大会を、開催する運びとなつた。幸にして各関係者の公民館活動に対して理解ある考えに依つて、会は盛大に開会され、県社会教育課下川先生の臨席を仰ぎ、丸山分館各位の献身的行為と来賓各位の熱心なる研究態度に依つて、終始静粛、厳正にして盛会裡に会を有意義あらしめた。

左に大要について述ぶ。

一、館長挨拶

公民館活動は成人教育である、住みよい村造りのため分館活動の重要性。

二、教育委員長村田挨拶

教育委員会の公民館活動に対する全面的協力について述ぶ。

三、丸山分館長の運営概要について

戸数四〇戸、人口二四〇名の当分館は中等教育を受けた者が少いので、公民館活動と現代の時局に対処すべく、少年教育が必要なので之に重点をおく、裏付として予算が伴うので

先づ産業部（農村）の活動、其の他各部毎の活動について概要を述ぶ、特に本年度より食生活の合理化に重点をおく。

四、産業部発表。

五、少年部珠算部発表。

六、青年部発表。

七、婦人部発表。

八、下川先生の講話。

1、公民館活動の重要性

公民館は成人を教育するところである。

2、従来の社会教育は講義式であつて一つの方便に過ぎなかつた。

3、現在の社会教育は自主生活を目的として経済（生活）を豊かにするにある。

4、社会教育の定義として

イ、生活の必要を充たす。

ロ、公民としての権利を公使出来る様便宜を計る。

ハ、公民としての心構を養える。

ニ、生活の安定（倫理）を計る。

5、公民館の性格として、文化的施設を持つこと。

場所としての公民館ではなく、分館活動に依つて村を活かすこと。

6、各専門の全能力の発揮されて、始めて公民館活動の発展があり公民館主事の計画如何によつて教育が変る。挙村一致している公民館で成績も良い。

九、分科会

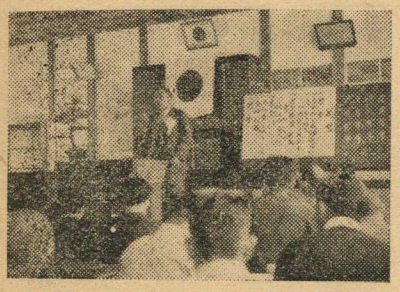
各部毎に討議。

一〇、全体討議

分科会で討議された問題を司会者によつて発表。

1、分館長部発表

イ、分館長は各部より出されたる



問題を一つに纏める事の困難性がある
ロ、国旗掲揚の実行。
ハ、各地の特殊性を活す。
ニ、生活改善の研究。
2、産業部発表
イ、予算について。
ロ、立毛品評会について。
ハ、青年団員の指導について。
ニ、農村青年に卑下せぬ様、農業に興味を持たせ、良いものであると云う観念の培養。
ホ、統計資料の作成について。
3、少年部発表
イ、計画に参加させること。
ロ、P・T・A役員と生徒との解合つて仲好になること。
ハ、経費について。
4、青年部発表
イ、プログラム編成について。
ロ、運営委員について。
ハ、青年団員導入対策。
ニ、分科会について。
5、婦人部発表イ受胎調節。
ロ、生活改善。
ハ、母親学級。
ニ、婦人会員の認識。
一一、下川先生評価
文部省表彰の貫録充分であり、権威が更に飛躍されている。
ハ、地域社会に結びついた運営がなされている。
1、行事の持ち方が民主的で議事運営も効果的である。
2、青年少年を信頼し人格を尊重して指導する。
3、封建的権威の是正、民主的権威の確立。
4、本年の公民館目標
1、成人教育の必要と公民館の施設の充実。
2、指導者の確立。
3、学校教育機能の能力体制の確立
4、分館と本館の関係。
一体になつて郷土社会の振興確立。

一、昭和二十八年四月十九日執行 衆議院議員総選挙結果について

1、投票率調

区分	男	女	計
当日の有権者数	四、〇九一	四、〇四〇	八、一三一
投票者数	三、六七五	三、五六六	七、二四一
棄権者数	四一六	四七四	八九〇
投票率	八九・八%	八八・一%	八九・一%

2、投票の内譯
投票総数　七、四二一（有効投票 七、〇六五　無効投票 一七六）
無効投票率　二・四三%

3、各候補者の得票数

候補者氏名	党派	得票数	候補者氏名	党派	得票数
滝井義高	日本社会党	二、八九七	平井義一	自由党	七七五
田原春次	〃	一、一四一	池田禎治	日本社会党（右派）	五九四
久野保	自由党	八〇〇	林信雄	自由党	三四四
木下重範	無所属	二九三	有馬英治	自由党（鳩）	八五
高曲敏三	日本共産党	二一〇	小林足水	〃	二七

4、衆議院議員総選挙に於ける各投票所男女別投票率調（四月十九日執行）

投票区分	区分	男	女	計
第一投票所	投票人員	四六一人	七二人	九三三人
	〃 投票率	九〇、五%	八九、〇%	九〇、〇%
第二投票所	〃 人員	三七二人	四一一人	七八三人
	〃 率	九二、三%	九一、九%	九二、一%
第三投票所	〃 人員	一、〇七六人	一、〇九八人	二、一七四人
	〃 率	八四、三%	八一、六%	八二、九%
第四投票所	〃 人員	一、七六六人	一、五八五人	三、三五一人
	〃 率	九二、八%	九二、二%	九二、五%
総計	〃 人員	三、六七五人	三、五六六人	七、二四一人
	〃 率	八九、八%	八八、一%	八九、一%

二、昭和二十八年四月二十四日執行 参議院議員通常選挙結果について

1、投票率

区分	男	女	計
当日の有権者数	四、〇八九	四、〇四〇	八、一二九
投票者数	三、五六三	三、五四二	七、一〇五
棄権者数	五二六	四九八	一、〇二四
投票率	八七%	八八%	八七、四%

2、投票の内譯
投票総数　七、〇五五（有効投票 六、六五一　無効投票 四五四）　無効投票率　六%

3、地方區各候補者得票数

候補者氏名	党派	得票数	候補者氏名	党派	得票数
吉田法晴	日本社会党	三、八二一	身吉秋太郎	無所属	四八
劍木亨弘	自由党	一、九〇三	野田俊作	緑風会	三〇四
森原春一	日本共産党	二一五			

4、全國區各候補者得票数（百票以上の者のみ）

候補者氏名	党派	得票数	候補者氏名	党派	得票数
阿具根登	日本社会党	一、七二三	横山フク	無所属	一一三
松本治一郎	日本社会党	一、四一七	重政庸徳	自由党	一一七
鮎川義介	無所属	三一九	森田義衛	無所属	一〇四
豊瀬禎一	日本社会党	一六八	梶原茂嘉	無所属	二五〇

5、参議院議員通常選挙に於ける各投票所男女別投票率調（四月二十四日執行）

投票区別	区分	男	女	計
第一投票所	投票人員	四三八人	四六五人	九〇三人
	投票歩合	八六、〇%	八七、九%	八七、〇%
第二投票所	〃 人員	三六三人	四〇八人	七七〇人
	〃 歩合	八九、八%	九一、二%	九〇、五%
第三投票所	〃 人員	一、〇一五人	一、一〇四人	二、一一九人
	〃 歩合	七九、六%	八二%	八一、〇%
第四投票所	〃 人員	一、七四八人	一、五六五人	三、三一三人
	〃 歩合	九一、九%	九一、〇%	九一、五%
総計	〃 人員	三、五六三人	三、五四二人	七、一〇五人
	〃 歩合	八七%	八八%	八七、四%

青壮年遣米視察団

福岡県代表　芦馬虎雄

前略　皆様お変りなき事と存じます。私もお陰で元気旺盛で、数日後のハ

ワイ上陸を、大いに期待して居ります。渡米に際して種々御高配を頂き厚くお礼申上ます。何うも船が揺れて文字がうまく書けませんが、何卒御判読下さい。

新聞等で既に御承知の如く、横浜では壮大華麗なる見送りに意気愈々昂然たるものが有つたが、悲しむべし三等船室の悲哀は、是を称して吾々プロレタリアの悲哀と謂うか、ムッとする異様な空気に思はずクラ〜となりそうだ、二日目の昼食後折角の御馳走も少々吐出した、一回切りですが、九州勢は中々元気旺盛連日議論百出、口角泡を飛ばしては、ジャパニイズダンス（炭坑節、東京音頭）を始めると謂う、頭はグラ〜して居るが何うにか三日目頃になると室の空気にも馴れて来た。

二日目の朝、皇太子殿下が炭坑節を御覧になつていると言うので、飛んで上る、勿論カメラを持つて一間とは離れていない所にお立ちになつて終始ニコ〜と御覧になつて居られる、私は一生懸命カメラのピントを合せて居たら、気の毒と思はれたのか、物蔭から出られて、私の真前に立つて、ポーズをして下さつた。連続三枚撮らして貰つたが実に自然で吾々の殿下だと本当に頭が下つた。

隣の方で一生懸命バレー遠征大学生が稽古をしていたが、たま〜ボールが殿下の頭にポカッと当つた、一同ハッと思つて疑然としたが、殿下はニコ〜と笑つて居られただけです。

やがて次の室でピンポンをやられているのが見られましたが、その自然の落着き、一生の光栄是に勝るものは有りません。一行中殿下を相手にピンポンをされた人が居りますが、とても上手で三人瞬時に負けて了つたとか、兎に角、四日目の今日も殿下の公式訪問が有り、各新聞社のカメラや録音も有りました。ハワイでヒリッピン人が降りてサンフランシスコえ着く前に船中にて、殿下を囲んで団欒の会を開催する事になりつゝ有ります。ヒリッピン人は全くの瞬間主義で晩は遅く迄バクチをやつて居ります。船中穏かですが戦時中、日本軍に相当やられて居たらしく良い感じは持つて居ない様です。船中の食物は、正に豪勢なもので自他共に称した健啖家も正に顔色なしと言うところ、カロリー百パーセント此の様な食物を摂つていたのでは、日本農家はつぶれて了うは必条で、昨年の例では帰省の船の食物は、不拙くて食えなかつたと聞くに及んでは、米国人の食物の豊富さは想像に余り有りと、吃驚せざるを得ません

こうして満ち足りた生活の中で、何か物足りない空虚なものを感じるのは不思議です。冷静に反省して見ると、一刻一刻米国を離れて居る感じです。物質で購い得ざる心の依り処なき生活に、段々興味がなくなつて来る様な気持です。物は足りなくても心で購い得る日本農民の豊さを感じ来つゝ有ります。

　　藹然と果なん方や白浪の
　　さらり、ゆらりと太洋を渡る。

村中の方々え隈なく便りしたいけれども中々容易でなく、心ならずも御無沙汰勝ちとなる事と思いますが、何卒宜敷く村内の方々え御伝声下さい。轟々とにぶい音を立て白浪切つて船はハワイえ〜と進航します。

亦面白いニュースも有る事と思いますが今日は是で失礼致します。では皆様御気嫌良く。

四月四日午前一時半
太平洋上ウイルソン号
放談室にて

野地園芸組合の共同育苗をかえりみて

長尾普及員

一月下旬だつたと思う。野地園芸組合の某氏より「私の処の組合員は千円近い種子（トマト、ナス、胡瓜）を毎年使つて育苗しているが、失敗のくりかえしであるから今年は共同育苗を計画しているので宜敷くたのむ」との相談があつた。温床の準備及び今迄の失敗の原因を調べるため夜間講話会に出席し組合員の育苗に対する熱意に動かされた。床土がないため一時は断念したが、昨年の甘藷育苗の床土を掘り上げて施肥、消毒を行い、不完全ながら二月九日踏込（稲ワラと石灰窒素主材）二月十四日に二寸の間隔に条播きを行い砂を覆つた。以後、組合員の細心の注意のもとに行はれた管理によつて、発芽期の降雨続きによる徒長も少く一本の立枯病も発生せず順調に生育した。三月中旬苗を各自が持ち帰り苗の間隔を六寸×五寸程度に床を広げ、今迄の経験を生かして充分なる管理を行つたため失敗するもの一人もなく、一月下旬に播種を行つたものをしのぐ良苗が得られ、四月二十日から二十五日頃までに定植が行はれた。

本年は例年本村の果菜の苗の大部分を供給していた永末さんが、自家用の健苗の育成に専念したため苗の不足を来し、購入農家は相当困られたが、これを機会に、自分の家に植付ける果菜類の苗は自分で作るよう今から床土の準備をすすめたいものである。

五月の農事メモ

麦、枯熟れの防止＝麦は生育初期に乾燥を好み、成熟期に或程度の湿度を必要とする。しかるに、本地方に於いてはこれに反し、初期の降水量多く麦は湿害をうけ、根は浅く表土にまんえんし、成熟期に極度の乾燥に逢うため土壌水分の不足を来たし枯れ熟れとなり、子実の充実悪くくず麦が多くなる。これを防ぐには冬期に中耕を深く行つたり、排水を図つて麦の根を土壌の深層部に伸長させておく必要がある。しかし此の様な手入の出来ない場合の最も効果的な枯れ熟れ防止法は、土壌の乾燥する時期に水分を補給するのである最も簡単で効果のあがるのは、六月の乾燥期に畦溝に夜間通水することである。

病害の防除＝麦は出穂期以降に種々の病害が発生し易い。各種銹病や赤黴病は其の代表的なもので、これを防除するためには石灰、硫黄合剤の一〇〇倍液かダイセーン水一斗一二匁液を撒布する。赤黴病は本地方では「アマグサレ」と呼ばれ麦に対して最も被害の大きいもので、出穂期から乾熟期にかけて降雨の際に伝染する。従つて、出穂後降雨前に薬剤撒布を行い、降雨の続く際は雨の晴れ間に石灰、硫黄合剤八〇〜一〇〇倍液を撒布廃る。

麦ワラの処理＝焼却せずに堆積しておき、牛馬の敷ワラとしたり農閑期に速成堆肥を作る材料とする。

苗代、追肥＝早いものは五月下旬頃から肥料切れが起り、胡麻葉枯病の発生を見ることがある。この場合、落水して坪当り硫安を三〜五匁、塩化加里を二匁位を水にとかして如露で撒布する。

深水をさける＝深水で苗を育てると下葉の枯死が早く、苗の分ケツする芽のある茎部の肥大が阻害されて不良苗となるから深水をさけること

結婚改善について

今般田川郡公民館連絡協議会主唱の下に郡内各町村が協力して生活改善運動を興すことになつたが、本村では生活改善中先づ結婚改善に乗出た

田川郡結婚改善規約（案）

一、目的　田川郡生活改善委員会は新らしい結婚理念に基き、虚礼を廃し、無駄を省き、ぜいたくをつゝしみ、簡素にして厳粛な結婚式を行い、合理的且つ能率的な生活態度をたてるためにこの規約をつくる

二、方針

菜種、蚜虫の防除＝菜種の成熟期に旱天が続くと蚜虫（本地方ではノダレと云う）が多く発生するから、ニッカリンの二、五〇〇倍液か硫酸ニコチン四〇％の八〇〇倍液、BHC粉剤反当三瓩撒布する。

収穫＝菜種の収穫の適期は菜種の一番下から出た枝の最上位の莢の中の種実が褐色に変り始めた時期である。

蔬菜、トマト＝側枝の発生を防ぐため芽掻きを行うが、この場合摘果を兼ね行う。摘果はトマトの一果房に数多く着果すると一個当りの肥大が悪く品質を害するので、これを三〜四個に制限する。摘果のやり方は一花房の基部のものが授精して肥大を始めたら三〜四果を残して先端の花及び蕾をつみとるのである。此の場合、タバコを扱つた手でトマトを処理するとタバコのバイラス病がトマトに伝染するから特に注意を要する。

追肥は第一果房が肥大を始めてから施用するがよい。　農業改良普及員

本紙二月号で掲載した如く、既に古門分館では実行しているので、之を全村に普及徹底するよう努力する。左に結婚改善規約を挙げる。

1、結婚改善規約の趣旨、目的は常に機会を求めてこれが普及徹底を期する。
2、過去の因襲を打破し、新らしい結婚理念をたてる。
3、受入れ側のみならず嫁方の負担をもかるくする。
4、挙式の準備、方法、披露の様式は大綱に止める。
5、各町村の実際については本規約を基準として、実情に応じて多少変更の余地を与える
6、本規約は委員会に於て必要と認めたときは改正する
三、運営方針　各町村毎に結婚改善推進委員を選出し、委員は責任を以ってその啓蒙と実践にあたる。
四、運営の実際
①挙式前の事項
1、済　酒…酒一升、頭付魚一尾とし、披露などは成るべく簡素にする。
2、結　納…茶包みは簡素にする（市売六〇〇円程度）結納料は一万円以内とし、品物は廃す。
※結納は済酒と同時に行うことが望ましい。
3、茶開き…全廃する。
4、式　服…有合わせのものを使用し、新調しない。（公民館備付があれば成るべくこれを使用する）
5、支　度…たんす、長持、ふとん等の調度並びに衣類の新調は見合はせ、後日新家庭に於て必要に応じ整える。但し鏡台、針箱はこの限りでない。
6、結　髪…自由とするも当日限りとする。
7、見　立…家族、近親者並びに深交ある者に止め、簡素な席とする。（嫁の場合は出来るだけ茶会とし、婿の場合は酒一合平均料理は五品程度とする）
8、賦…　他人向は元則として廃止する。
②挙式事項
1、式場…施設、設備のあるところは成るべく公民館その他に於ての出合挙式を本体とする。
2、式典…本式には新郎、新婦仲介人、両親、近親代表者列席し、厳粛な「盃ごと」のみに止める。
3、祝　宴
◇式典後引続き本客、披露宴を兼ね行う。
◇参列者は式典参列者の他に特に深交ある者を加える。
◇料理…引物、土産、本膳を廃し、七品以内（三〇〇円以内）とする。
◇酒…一人平均三合以内とする。
◇花嫁の着替えは一回限りとする。
4、加勢…必要限度に止め、出来るだけ少くし、加勢人に対する特別な慰労はしない。
③挙式後の事項
1、式典、披露を終れば直ちに引取り、実家に於ける二次会等は行わない。
2、近隣披露…茶話会程度とする。
3、初歩き…簡素にし、土産くばりは廃止する。
4、婿入り、中元、歳暮は原則として全廃する。
④其の他
1、健康診断…結婚当事者は挙式前に健康診断書を取り交わす様奨励する。
2、新婚旅行…新婚の門出を祝福し、新生活設計の機会を与える意味で一、二泊程度の軽旅行をさせることが有意義である。
3、郡外関係…仲介人に於て先方の諒解を求め、出来るだけ本規約に準する様努力する。
4、本規約に基いて挙式する場合に限り、結髪、着付、記念撮影等は成るべく公民館より業者への協定料金を定めて斡旋する様に取計う。

三つの花

一、机の上の赤い花
可愛い小さなバラの花
身に偽りを　持たないように
悲しそうに　教えました
お部屋の机の上にある
花瓶に生けてる矢車草
優しい人になる　ように
肩によりそい　教えました
二、野辺に咲いてる彼岸花
大きな花びらふるわせて
素直な人に　なるやうに
頭ふり〳〵　教えました
三、その中すゞめは　死んでいた
川から町え　遥々と
栄養スープに　身を投げて
私を助けに　来たものを
ひとり暮しで　この始末
御覧なさいよ　すゞめ貝さん

すゞめ貝

一、朝露わけて　触れ歩く
「すゞめ貝よござつしよ」
にさそわれて
一舛こわ〳〵　買いました
朝も夕べも　亦朝も
食べて残つた　すゞめ貝
二、ザルに入れたら　物言つた
ブツ〳〵ガサッと　物言つた
すゞめ貝の小言は　初めてだ
口を開けたり　結んだり

四月中新刊書

著者	書名
松丸志摩三	農民から都会人へうつたえる
武谷　三男	みな殺し戦争としての現代戦
岩崎　敬	新しい映画の見方
山田　文雄	若き妻の知性
長与　善郎	最澄と空海
中村　克郎	日本の息子たち
石川　達三	青色革命
古谷　綱武	青春の生き方
オルテーガ	変愛論
梅田　晴夫	母の肖像
鹿島　孝二	恕れ三平
徳田　秋声	閑白マダム
	昭和文学全集
	徳田秋声集
服部卓四郎	大東亜戦争全史（一）
藤村　作	現代文学総説（一）
下中弥三郎	世界歴史事典
毎日新聞社	毎日新聞縮刷版三月号

春祭りの惨事

五月七日八幡神社春祭りの農居墜落事故は、前古未曽有の珍事にして、即死二名、重傷七名で被害者は勿論遺族に対して何とも慰安の言葉も無いが、事は神社の祭事により惹起せるを以て、村としては九日午前十時から緊急村議会を召集、不敢取弔慰並に見舞金として拾五万円の支出を決定、村長、議長共に各家庭を訪問弔慰した。
これに対し被災家族より鄭重な感謝の言葉のありました事を皆様に報告致します。

敬弔

永らく村政の為尽瘁せられた故高津高蔵氏は去る五月八日急逝されました。氏は本村会議員として教育民生常任委員の要職にあり又消防委員としても其の敏腕をふるい、村民一同氏の御逝去をいたく惜み謹みて哀悼の意を表します。
因に御遺族の方から香典返しに金参千円の御寄附がありました、近く夫れ〳〵の機関に諮り永く其の御功績をたゝへたいと存じます。紙上をかり関係各位へ厚くお礼申上ます。

編輯後記

四月は選挙と青年学級生徒励誘のため多忙、五月に入つて神幸の惨事の外、役場挙げての行事が多かつたゝめ遂発刊の遅れたことをお詫び致します。

四月ブツクルーム

利用される図書	冊数
総　記…学習百科辞典	3
哲　学…人格と人類性	3
歴史…生きている日本史	6
社会科学…日本経済読本	11
自然科学…人間の歴史	6
産　業…蔬菜園芸相談	6
文　学…山本有三全集	86
計	121

開館日数
20日

友の会新登録	
学　生	1
一　般	4
計	5

閲覧者数	
官公吏	15人
炭鑛業	17
農業	11
商工業	2
学生	19
生徒	2
其ノ他職	3
無	10
計	79

◇原稿募集◇

一、論文、随筆、創作、文芸評論何んでも建設的なもの（取捨は編集部に一任）
二、詩歌、俳句、山柳一人二首二句
三、投稿締切　毎月五日
四、投稿先　方城村公民館